

大会名称: 第72回国民体育大会  
愛顔つなぐえひめ国体

開催場所: ツインドーム重信 Aコート  
試合区分: No. 6 成年男子 準々決勝  
期 日: 2017(H29)年10月2日(月)  
開始時間: 11:55  
終了時間: 13:25



主審: 柏原 琢磨  
副審: 池田 隼人

香川 (四国)	○ 76	16 — 21 26 — 15 20 — 18 14 — 12 — —	● 66	北海道 (北海道)
------------	---------	--	---------	--------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	益満 貴幸	15	2	3	3	0	8	5
5	*	香川 誠治	4	0	1	2	0	3	1
6	*	本井 敏雄	24	0	10	4	0	14	4
7		植村 尚友	-	-	-	-	-	-	-
8		福永 直人	-	-	-	-	-	-	-
9		山野 裕太	0	0	0	0	0	0	0
10		明見 京祐	-	-	-	-	-	-	-
11	*	鈴木 涼太	16	0	8	0	0	7	2
12	*	笠井 康平	16	2	3	4	0	3	5
13		鈴木 一渡	-	-	-	-	-	-	-
14		若狭 功希	1	0	0	1	0	2	0
15		松本 賢享	-	-	-	-	-	-	-
HC		近石 裕幸 / TEAM							
		合計	76	4	25	14	0	37	17

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	高野 慶治	10	0	5	0	0	4	1
5		下澤 義弘	-	-	-	-	-	-	-
6		西島 宏哉	-	-	-	-	-	-	-
7	*	栃本 貴洋	10	0	5	0	0	5	3
8		鳴海 貴裕	3	0	1	1	0	6	0
9		亀谷 忠明	0	0	0	0	0	0	0
10	*	中村 正也	7	0	2	3	0	4	0
11	*	影谷 篤	0	0	0	0	0	2	0
12	*	大釜 賢治	14	0	6	2	0	7	1
13		鈴木 航	11	2	0	5	0	4	1
14		金丸 英悟	9	1	3	0	0	6	0
15		山田 寛貴	2	0	1	0	0	2	0
HC		佐々木 明彦 / TEAM							
		合計	66	3	23	11	0	40	6

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスで始まる。香川県は#6のパワープレイ、#4、#12の3Pなどで得点を重ねる。一方北海道は、#13の連続3Pや#12、#10がオフェンスリバウンドをそのままねじ込むなど、速攻を含めた速い展開で試合を進めた。16-21、北海道の5点リードで終了。

第2ピリオド、追いつきたい香川県は#6のポストプレイから#12の3P、#11のバックアカットへの合わせなど、バスとドリブルで北海道のディフェンスを翻弄、逆転につなげた。北海道はオフェンスリバウンドを奪いセカンドチャンスを活かそうとするが、香川県の高いブロックに阻まれ得点につなげることができない。残り4分、北海道はタイムアウト後の#14の3Pから流れを戻そうとするが流れは変わらず、42-36の香川県6点リードで前半を折り返す。

第3ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスを続ける。香川県は#6のスクリーンプレイから#11への合わせ、#5の外角シュートなど、落ち着いた試合運びは変わらない。北海道は#12の外角シュートが決まり始め、徐々に流れを取り戻すかと思われたが、香川県の堅いディフェンスを崩しきることができない。北海道は、残り2分のタイムアウトから#7のスティールからの速攻と#14の外角シュートで点差を縮め、62-54の香川県8点リードで終了。

第4ピリオド、香川県は#4の3Pを皮切りに北海道を突き放そうとする。北海道は#14の外角シュートでくらくつく。北海道はタイムアウト請求し、流れを変えようとする。その後#4の3連続シュートもあったが、逆転につなげることができず、76-66で香川県が準決勝へ駒を進めた。落ち着いた試合運びでリードを守った香川県と、最後まで試合を諦めなかった北海道の両チームに賛辞を送りたい。

担当者: 星 徹(愛媛県バスケットボール協会)

日本体育協会・日本バスケットボール協会・愛媛県バスケットボール協会

